予算特別委員会の審査

平成20年度の各会計補正予算及び平成21年度の各会計予算を審査するため、予算特別委員会を設置し、５日間にわたり審査が行われました。採決の結果、全議案とも原案のとおり可決されました。主な質疑の内容は次のとおりです。

補正予算

質疑　地域活性化生活対策臨時交付金はどのように活用するのか。また、市の考え方は。

答弁　平成21年度予算に計上してあった事業を前倒しして平成20年度に予算化しました。公園、公民館の工事等を含めて各地区の事業を分散したことで、ある程度は地域の活性化につながると考えています。

質疑　伊香保温泉再生事業の繰越明許費の内訳は。

答弁　湯元源泉広場整備など13事業の工事です。

質疑　観山荘の解体費用は。

答弁　予算上は６０００万円です。

質疑　今後の渋川ネイブルスクエアの活用方法は。

答弁　区画整理事業終了までの間、朝市や物販イベント等に利用します。

新年度予算

歳入関係

質疑　ふるさと応援寄附金への積極的な取り組みは。

答弁　制度の周知を図るため、ふるさと通信に掲載したり、忘年会や新年会の時期に伊香保温泉の各旅館等にチラシを入れています。

質疑　学校給食費実費徴収金未納者等の状況は。

答弁　生活困窮による未納は過年度分で99件、現年度分で66件あり、支払う能力があるのに未納になっているケースもあります。

質疑　平成20年度の公営住宅等使用料の滞納状況は。

答弁　１月末現在で滞納者は１１５人おり、滞納額は家賃、駐車場使用料など合計で４６５５万円です。

質疑　ヘルシーパル赤城が新たな事業者に落札された。温泉の売り払いはどうなるのか。

答弁　現状と同じ内容の業務を続けていくのであれば継続して温泉を供給していきます。

敷島緑地公園マレットゴルフ場

質疑　市民ゴルフ場の利用状況と財政状況は。また、ゴルフ場の中にマレットゴルフ場を建設することはできないか。

答弁　平成20年度は３月までに２万２０００人の利用がありました。財政は昨年度より改善されています。中にマレットゴルフ場を建設するのはスペースの問題もあり難しいと考えます。

総務費

質疑　庁舎管理事業の電気料が赤城総合支所は１１５万円と、北橘総合支所の８２０万円やほかの総合支所と比べて少ないが。

答弁　平成19・20年度の実績を基に算出しています。昼休みの消灯など節電の工夫もしています。北橘総合支所も節電に努めていますが、庁舎がオール電化のためほかの燃料費がかからない分、電気料が高くなっています。

質疑　地上デジタルテレビ放送対策事業の補助内容は。

答弁　自主共聴組合への補助、群馬テレビが行う中継局のデジタル化改修への補助です。

質疑　特色ある地域づくりの中で白井城址散策路改修整備については昔の地図等が残っておらず復元が難しいとのこと。今後研究して観光拠点となるような整備をしてほしい。

答弁　市の指定文化財であることから、文化財保護課と連携し検討していきます。

民生費

質疑　介護慰労金支給事業の要綱で基準日が年１回だと支給要件が厳しいのでは。

答弁　事業の性格上基準を設けていますので、基準どおりの運用でやむを得ないと考えています。

質疑　病後児保育について渋川総合病院の空き室を利用する考えは。

答弁　今後、一つの選択肢として検討していきます。

質疑　学童保育対策事業で学童保育所の利用状況は。

答弁　市内に16施設あり、利用者は全体で６９３人います。

衛生費

質疑　妊産婦健康管理事業で望ましいとされている公費助成の妊婦健診14回の費用は。

答弁　14回の健診費用は同料金ではなく、１回が５０

００円から１万円くらいですが、県と県医師会で協議してなるべく無料になるよう進めています。

質疑　夜間急患診療所を渋川総合病院に移す考えは。

答弁　当面は、病院改革プランを基に従来の計画を進めていきますが、考えは考えとして、将来的な話としては全くないわけではありません。

質疑　容器包装分別収集事業でエコキャップ運動に取り組む考えは。

答弁　市内でエコキャップの回収に取り組んでいる小中学校はありますが、市として容器包装リサイクル法の中で取り組む考えはありません。

農林水産業費

質疑　農用地利用集積促進事業で県が２分の１、市が２分の１を負担し、貸し手借り手の両方に助成するというが。

答弁　効果として遊休農地、耕作放棄地など５００ha以上が解消され、この事業がなければ遊休農地が更に増えます。

質疑　電牧柵設置の取り組み状況は。

答弁　平成20年度は鳥獣害対策で、電牧柵の設置を７地区で実施しており、有害鳥獣の駆除事業と併せて取り組むことが効果的だと考えています。

質疑　農業農村応援事業の対象は。

答弁　様々な取り組みがあり、機械、施設のみでなく、組織という形であれば地域の特色を生かした取り組みも対象となります。

質疑　こんにゃく消毒適正化事業の展開方法は。

答弁　こんにゃくの生産農家に対する消毒の適正使用の啓発を広報車による広報、チラシの作成、説明会の開催等で実施します。

商工費

質疑　消費生活センターへの相談件数は。

答弁　平成19年度は６２８件で、ピーク時の１２２６件と比べ減っています。昨年は県と共同で多重債務者相談会を開催しました。

質疑　優良企業誘致促進事業への取り組みは。

答弁　先進地を視察し、庁内に組織を立ち上げて取り組みます。

質疑　補助金を出している渋川市観光協会の事業は。

答弁　市の観光ＰＲが主なもので、再発見バスツアーや観光ガイドの会の充実を図ります。

土木費

質疑　（仮称）市道渋辰巳町有馬線道路改良事業の進捗状況は。

答弁　平成20年度末で進捗率68％程度を見込んでおり、平成22年度までには完了したいと考えています。

質疑　耐震改修促進事業の内容と応募状況は。

答弁　平成20年度は11件の応募がありました。市と国で２分の１ずつ負担し、１件３万円を補助します。

消防費

質疑　防災行政無線について具体的にどういう保守管理をしているのか。

答弁　現在、合併前の旧市町村で使っていたものを使用しており、管理もそれぞれの総合支所で行っています。今後、周波数の統合やデジタル化を含めて整備していきたいと考えています。

旧渋川公民館

教育費

質疑　学校給食調理場再編整備事業について、自校方式存続を求める請願に添えられた５５００人からの署名をよく考えてほしい。

答弁　多くの署名があったことは承知していますが、共同調理場方式で全市域の子供たちに同じものを食べてほしいと考えています。

質疑　通学バス運行事業の安全対策は。

答弁　市で運行しているバスは毎日点検を実施し、その結果を報告させています。異常があればすぐ修理するよう指示しています。

質疑　旧渋川公民館は大切な歴史的建造物であるので、ひき家移転を考えてほしい。

答弁　現在の概算費用１億６０００万円のほか、外壁補強工事等の費用がかかり、地盤の調査、周辺の問題などもあり難しい状況です。

国保関係

質疑　国民健康保険資格証明書の交付が増えた理由は。

答弁　短期保険証の有効期間を４ヵ月のみに改め、滞納者に対する納税相談の回数を増やしたことなどが考えられます。

病院関係

質疑　放射線治療装置リニアックの導入について、建物、本体等を合わせて６億円と聞いていたが、なぜ８億円に増額されたのか。

答弁　リニアックの照射回数の関係で、建物の壁に入る鉄板の厚さを当初予定していた38㎝から50㎝に変更したこと等によります。